

デジタル変革時代の電波政策懇談会  
公共用周波数等ワーキンググループ（第4回）（非公開）  
議事要旨

1 日時

令和3年3月3日（水） 16:00～17:15

2 場所

Web開催

3 出席者（敬称略）

（1）構成員：

高田主査、森川主査代理、飯塚構成員、大谷構成員、寺田構成員

（2）総務省：

新谷総務副大臣、竹内総合通信基盤局長、鈴木電波部長、布施田電波政策課長、柳迫電波政策課企画官、荒木基幹通信室長、寺岡重要無線室長

4 議事要旨

（1）開会

（2）議事

① 公共用周波数等ワーキンググループ報告骨子案について

関係省庁が使用する無線システム（不公表システムを含む）のうち、「他用途での需要が顕在化しているシステム」と「アナログ方式を含むシステム」を対象に、第1回会合から第3回会合でのヒアリング等の結果を踏まえ、今後の方向性等について議論を行った。

構成員からは、次のような意見があった。

- 「他用途での需要が顕在化しているシステム」については、廃止・周波数移行・周波数共用を、「アナログ方式を含むシステム」についても、廃止・デジタル化に向けて検討を進める方向ということで、全体的に前向きに検討頂いている印象を受けた。
- 一方で、公共用の無線システムのデジタル方式の検討に際しては、市場が狭く民間の努力だけでは困難と想定されることから、国による支援が必要と考える。また、複数の周波数帯で同一のデジタル方式を採用したり、国の機関だけでなく自治体等でも同一のデジタル方式を採用するなどの“共通化”を進め、コスト低減を図ることも必要である。

② その他

本日の議論を踏まえ、公共用周波数等ワーキンググループの報告案を事務局にて作成し、次回会合で議論することとなった。

（3）閉会

以上